

さんぼみち

発行者

兵庫県立総合リハビリテーションセンター
リハビリテーション中央病院

〒651-2181 神戸市西区曙町 1070
TEL (078) 927-2727
FAX (078) 925-9203

ホームページ <http://www.hwc.or.jp/hospital/>



自己意識化（自分を見つめる）ということ

神経内科

脳損傷の患者さんが、自分の能力をあたかも過大評価しているような印象を受けることはないでしょうか。例えば、重い記憶障害が残存している患者さんにメモを取るように促しても、大丈夫と言って拒否されるとか。私たちは、自分で判断をして行動を開始し、状況に合わせて評価、修正することで社会生活を営んでいます。

つまり、意識は常に自分に向けられています。専門用語で自己意識化と表現しますが、要するに自分を見つめるということです。脳損傷の患者さんの中にはこの機能が障害されたため、損傷前のイメージのまま行動したり、自分の行動に無頓着になり、社会の中で孤立するケースがあるのです。またリハビリテーションの障害にもなります。

脳損傷により、それまで出来ていたことが出来なくなっている自分に気づくことが、機能回復の鍵となるのです。しかし、やみくもに説明しても混乱を招くだけですし、また事実気づくことは、患者さんにとって心理的ストレスにもなるでしょう。周りを取り巻く人間が、病状を十分に理解してあげる必要があります。このような症状は、損傷後数年がかりで改善することもまれではありません。私たち医療スタッフと情報を交換しながら対応して行きましょう。

「手のひらの中に脳がある」

リハビリ療法部

人間と他の動物を比べたときの大きな違いは、人間は言葉を話し手を巧みに使いこなすことです。しかし、人間も初めから手を巧みに使いこなせるわけではありません。「つかむ」「握る」という動作は生まれたばかりの赤ちゃんにもできますが「つまむ」動作はすぐにはできません。ペンもいきなり上手く持てるわけではありません。これは脳の働きがすべて生まれつきできあがっているわけではないからです。

私たちは喫茶店に入ってコーヒーを注文したとき、何の苦もなくそ

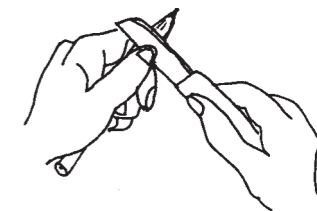


れを手にとってコーヒーを飲むことができます。自分の家で普段使い慣れているカップではなく、初めて見る色や形や大きさのカップが出てきても上手く口に運ぶことができます。これは「カップというものは、こういう形のものでこう扱えばよい」ということが特定のカップを指してではなく、普遍的な形式で脳の中に書き込まれているからです。だから違うカップを目の前にしても、その普遍的な情報を利用して手を上手く動かすことができるのです。このカップを扱う情報というのは、目から入った視覚情報と手の感覚から入った情報が統合されて形成されます。そして脳の中に書き込まれて記憶されると、今度はカップを見たときにその視覚情報からだけでカップをつかむのに都合のよい手の形がつくられることとなります。

このように私たちは手を動かすことによって対象を理解し、そのイメージ世界を脳に作り上げ、それを操作する能力を身につけてきました。しかし近年機械化社会が進み、道具が機械へと変化し、その機械もスイッチひとつで動くものが増えてくると、手を鍛える機会が少なくなってきました。

最近の技術の進歩は、私たちの生活を便利にしてくれていますが、一方では、それを使うのに手の訓練を必要としないものが多くなりました。

しかし、手の働きが脳を育て、どこまで脳が育ったかが、手の働きの巧みさによって読み取れるのです。「手は外に出た脳」という人もいるぐらいで、脳を育てるために手の訓練をおろそかにすることはできないのです。



「アミノ酸」って何？

給食課

最近「アミノ酸」という言葉をよく耳にしますが、どんなものかご存じですか？アミノ酸とは、蛋白質の最小単位で人間をはじめ、あらゆる生物の体をつくる重要な物質です。人間の体は20種類のアミノ酸が複雑に組み合わせられてできています。そのうち10種類は体内で合成できますが、残りの10種類は食事で補給する必要がありますことから、「必須アミノ酸」と呼ばれています。アミノ酸には独自の働きがあり、組み合わせにより体力向上・免疫力強化などさまざまな効果があります。

では、どのようにすれば、アミノ酸を摂ることができるのでしょうか？基本的には、通常の食事をしていればアミノ酸は足りています。ただし、栄養の偏った食事や、ダイエットで過度の食事制限をすると、アミノ酸やその他の栄養成分も不足し、バランスが崩れてしまいます。また、不必要に摂りすぎることも、かえって身体に負担となります。まずは、ご飯やパンなどの主食と、肉・魚・卵・大豆などの副食をバランスよく組み合わせる事が大切です。みなさんの食生活はいかがですか？これをきっかけに改善してみたいかがでしょうか？

裏面へつづく……

おしらせコーナー

【患者様、ご家族の皆様へ】

下記の勉強会を予定しております。
どうぞご参加ください。詳しくは、
ポスター等でご案内致しますので、
ご覧下さい。

糖尿病教室

平成15年11月 5日(水) 12月 3日(水)
平成16年 1月14日(水) 2月 4日(水)

リウマチ教室

平成16年 1月21日(水) 1月28日(水)
2月 4日(水) 2月18日(水)

文化祭 平成15年11月 7日(金) 於) 勤労身体障害者体育館

平成15年度インフルエンザ予防接種の実施について

当病院に於いて希望者(申し込みをされた方)には標記予防接種を実施しています(有料)。詳しくは1階医事調整課受付でお聞き下さい。

実施期間 平成15年10月15日～平成16年 2月29日

《私たちの目指すもの》

- 1 患者さんの立場に立ったチームアプローチによるリハ医療
- 1 入院から在宅までの一貫したサービス
- 1 安全で質の高い先導的なリハ医療の追求

リハビリテーション中央病院

ご意見ご要望に関して

多くの患者様から貴重なご意見ご要望を頂き有難うございます。平成15年4月～9月までのご要望・ご意見をまとめました(別表1)。

外来患者様には気持ち良く来院していただき、また入院患者様には快適な療養生活を送っていただけるよう努力して参ります。

出来る限り掲示板等でご返事をさせて頂きたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

〔別表1〕 平成15年 4月～9月 ご意見・ご要望

苦情・意見・要望の内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計	
							件数	割合(%)
1. 受付・会計に関する事	1	1	1			1	4	11.4%
2. 診療職員の患者対応に関する事	4	1	1		3		9	25.7%
3. 看護師の患者対応に関する事	1					2	3	8.6%
4. その他の職員の患者対応に関する事	1	1	2		3	2	9	25.7%
5. 給食の味付けに関する事			1				1	2.9%
6. その他の給食に関する事							0	0.0%
7. 院内の施設・設備の改良・修繕に関する事							0	0.0%
8. 院内の環境の整備に関する事					1		1	2.9%
9. 備品の備え付けに関する事			2				2	5.7%
10. 駐車場に関する事				1			1	2.9%
11. 診療内容に関する事							0	0.0%
12. 喫煙場所・禁煙に関する事							0	0.0%
13. 携帯電話・公衆電話に関する事							0	0.0%
14. 外来食堂に関する事				1			1	2.9%
15. 売店に関する事							0	0.0%
16. その他	2				2		4	11.4%
計	9	3	7	2	9	5	35	100%

院内放送

平成15年10月1日より患者様のお呼び出しを姓のみとさせて頂いておりますので、ご迷惑をお掛けすると思っておりますが、よろしくご協力の程お願いいたします。

「さんぼみち」リクエスト記事受付

ご要望の記事があれば、参考にしたいと思っておりますので、1階受付カウンター「さんぼみちリクエスト箱」へお入れ下さい。

